



さくら便り 第1号

「さくらセット」(「精神保健福祉士のキャリアラダー」とワークシート)は、自己研鑽を支援するツールです。全4回の「さくら便り」では、働きながら学び続けることを応援するために開発された「さくらセット」の特長や活用方法等について、「精神保健福祉士の資質向上推進委員会」委員が連載で紹介していきます。

“さくらセット”で学び続けよう

岡田 隆志

ラダーとは、キャリアアップのための“はしご(ladder)”を指します。ステップアップのプロセスを明確にして、資質向上の機会を提供する仕組みであり、将来の目標を見定めて、着実に実践能力を獲得するための指標の役割を果たします。「精神保健福祉士のキャリアラダー」(以下、ラダー)は、実践者として備えるべき能力を具体的に示しています(表1)。

私たちは、アセスメント力や連携・協働・チーム形成力、ソーシャルアクションを推進する力などのソーシャルワーク実践力に加え、後進を育てる力、実践成果を発信する力、社会人として必要な力、生活と仕事のバランスを保つ力まで、多岐にわたる能力を備える必要があります。現場の毎日は目まぐるしく、研鑽の必要性はわかっ

ても、つい後回しになることが少なくありません。着実に実践力を身につけるためには、(1) 職場内外の同職種から支援を受けること、(2)「なりたい自分」を目標にして、現在の能力と今後高めていく能力を見定めること、(3) 具体的な研鑽の取り組みを可視化することが効果的です。これらを意識して作ったツールが、さくらセットです。

さくらセットという名称は、「さ」わやかなソーシャルワーカーになるための「ク」オリティアップのための「ラ」ダーに由来します。日々の実践と向き合いながら資質を磨き続け、蕾から満開の桜へと成長していく姿を応援するものです。協会WEBサイトに資料や関連情報を掲載しているので、是非アクセスしてください。次号では、専用ワークシートの利用の仕方について紹介します。

表 精神保健福祉士に求められる能力

項 目	キーワード
1. 仕事と暮らしの調和	
(1) 健康状態の自己管理	健康管理のマネジメント、ストレスチェック
(2) 仕事と家庭のバランス	ワークライフバランス
2. 社会人・組織人としての力	
(1) 基本姿勢やマナー	適切なコミュニケーション、社会的規範、法令順守
(2) 組織人としての役割遂行	運営管理、組織経営、就業規則
3. 専門職・実践者としての力	
(1) 専門的支援関係形成力	協働、信頼関係、自己決定の尊重
(2) アセスメント力	ニーズの把握、人と環境の全体性、多面的理解
(3) 支援・介入・調整力	ケアマネジメント、分野横断的支援、包括的支援
(4) 連携・協働・チーム形成力	ネットワーキング、チームアプローチ
(5) コミュニティへのアプローチ・ソーシャルアクションの力	制度・政策の理解、地域組織化、情報発信
4. 自己研鑽	
専門性を養うために学び続ける力	クライアントから学ぶ姿勢、学習方法の体系化、キャリアデザイン
5. 専門職教育・研究	
(1) ソーシャルワーカーを育てる力	実習指導、スーパービジョン、後進育成
(2) 研究、実践成果を示す力	実践の言語化、実践報告・研究への参画
6. ソーシャルワーカー意識	
ソーシャルワーカーアイデンティティ・モチベーションを維持する力	権利擁護、批判的視点、倫理的ジレンマ

(注)「精神保健福祉士のキャリアラダー」をもとに筆者作成。



関連情報を掲載したWEBサイトにアクセスできます

おかだ・たかし

SW歴18年／公立大学法人福井県立大学(福井県)勤務／
本協会精神保健福祉士の資質向上推進委員会委員長